

# 東島根中校長雑感

足立区立東島根中学校

令和6年2月1日 令和5年度 第12号

## 生きていることに価値がある

校長 大瀧 訓久

### 「はなしょうぶ」(星野富弘)

黒い土に根を張り／どぶ水を吸って／なぜきれいに咲けるのだろう／

私は／大ぜいの人の愛の中において／なぜみにくいことばかり／考えるのだろう

体育の新任教師として、群馬県の中学校に赴任した星野富弘さんは、自らが専門とする器械体操部の顧問になりました。子供の頃から運動センスに優れ、群馬大学では器械体操の選手として活躍していました。教師になることを夢見、そして実現。順風満帆なスタートを4月に切りました。しかし、6月、事態は急変。星野富弘さんの人生が一瞬に暗転したのです。得意のマット運動で宙返りをした時、誤って頭から落ちてしまいました。「バキッ!」、頸髄損傷。以来、首から下すべての器官が麻痺してしまったのです。事故が、どれ程の苦しみや不安を運んできたか、私には想像を絶します。運動が大好きな青年体育教師の苦悩は、たぶん誰にも理解できないでしょう。熱血青年の教師生命は、たった二ヶ月で絶たれたのです。1970年、星野富弘さんは24歳の若さで手足の自由を奪われ、二度とベッドから降りることも、そして一人で寝返りすることもできなくなりました。事故当初、自力呼吸すらできず、気管切開までして命を長らえたそうです。動かすことのできるのは唯一、目だけ……。

### 「つばき」(星野富弘)

木は自分で／動きまわることはできない／神様に与えられたその場所で／

精一杯枝を張り／許された高さまで／一生懸命伸びようとしている／

そんな木を／私は友達のように思っている

私は、星野富弘さんの名前は昔から知っていましたが、このような状態を知ったのは十数年前でした。当然、手で絵を描くことは不可能です。なんと、星野富弘さんは筆を口にくわえ、お見舞いに飾られた花をスケッチブックに描いたのです。さらに、自分の思いを詩にしたため、その絵に綴ったのです。星野富弘さんは、ベッドに横たわり「死」ということを真剣に考えたそうです。生きていることが辛くなったと言います。しかし、動くことができない以上、自分の力で死ぬこともできない。そんな現実にも悶え苦しみ『生き地獄』と向き合っていたのです。でも、生き続けていくれたからこそ、宝物のような作品がたくさん生まれたのです。

### 「れんぎょう」(星野富弘)

わたしは傷を持っている／でもその傷のところから／あなたのやさしさがしみてくる

1972年、事故から丸二年の歳月が流れました。星野富弘さんは母親の献身的な愛に支えられ、ついに挫折からのスタートを切ったのです。植物を描く水彩画と心を綴る詩の世界に、自分の生きる道を発見したのです。先月14日、快晴下、わたらせ渓谷鐵道トロッコに乗り、久しぶりに群馬県の草木湖畔にある「富弘美術館」に行ってきました。中に入ると透明感あふれる水彩で描かれた草花と素朴で美しい詩の世界が広がっていました。原画作品の数々を見ているうちに心は落ち着き、

とても癒やされた気持ちになりました。けれども、小さな額縁の中からは、大きな生命のエネルギーが、こぼれ溢れていました。人間は、誰もが底知れぬ生命のパワーを絶対に持っているはず。ただ、発揮する術を知らないだけなのです。「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」。人間が「生かされている」という現象は、必ず何かの役に立っているということなのではないでしょうか。

私は思います「生きることには必ず意義がある」と・・・。

能登半島地震の犠牲者が200名を超えました。しかし、能登半島の輪島市の面積より小さいパレスチナ・ガザ地区での死亡者は2万人を優に超え、ウクライナ戦争での死者は両国合わせて50万人を超したと聞きます。ロシア軍の戦死者は30万人とも聞きます。人間の愚かさが浮き彫りになっています。自然災害は避けることはできませんが、戦争は平和的に解決し避けることができるはず。人は強くなくては生きていけない、優しくなければ生きていく資格がないという言葉があります。皆さんには、もっともっと強くなって、平和で優しい世の中を創ってもらいたいです。

## 島根の力！(表彰生徒)

### ☆バレーボール部

第21回 Golden Cup 第四位 優秀選手賞：2年1組生徒・2年2組生徒  
第22回 Golden Cup 準優勝 優秀選手賞：2年1組生徒  
足立区中学校バレーボール1年生技術交流会 準優勝

☆吹奏楽部 第57回東京都中学校アンサンブルコンテスト 銀賞

### ☆陸上競技部

第62回東京都中学校ロードレース大会 区部男子2・3年2Km 第3位 2年1組生徒

### ☆令和5年度 足立区立中学校連合書初め展覧会

銀賞：2年2組生徒・1年2組生徒  
銅賞：2年2組生徒・1年1組生徒・1年3組生徒

### ☆令和5年度 図書館を使った調べる学習コンクール

全国入選：2年3組生徒 足立区入選：2年1組生徒・1年1組生徒・1年3組生徒

## 今後の予定

2月 2日(金) 3年：都立高校推薦発表、中央議会	27日(火) 1年：実力テスト
3日(土) 土曜授業、入学説明会 11:00～体育館	3月 1日(金) 3年：都立高校前期一次発表
5日(月) 生徒集会	6日(水) 3年：都立高校後期二次出願
6日(火) 3年：都立高校前期一次出願×切	8日(金) 3年：卒業遠足
8日(木) 2・1年：ESAT-J(都スピーキングテスト)	9日(土) 3年：都立高校後期二次学力検査
9日(金) 1年：校外学習(都内巡り)、漢字検定	11日(月) 3年：薬物乱用防止教室、三送会
14日(水) 避難訓練、小中連携研修	14日(木) 3年：都立高校後期二次発表
21日(水) 3年：都立高校前期一次学力検査	15日(金) 卒業式予行
22日(木) 後期期末考査(英・国・理・保体)〈給食なし〉	19日(火) 第64回卒業証書授与式
26日(月) 後期期末考査(数・社・技家・音)〈給食なし〉	25日(月) 修了式